

法人合併検討の これまでの経過

2018年の通常総代会で医療生協かわち野(以下かわち野)とヘルスコープおおさか(以下ヘルスコープ)は、合併を検討することを確認しました。両法人の理事を中心に合併検討協議会を9月と11月、5月の計3回開催し、合併検討協議会事務局会議を毎月、以下の5つの部門別小委員会を置いて検討してきました。



これまでの経過と今後の予定

2018年
12月 第1回合同理事懇談会
たまり場見学会(ヘルスコープ⇄かわち野)

2019年
2月 たまり場見学会(かわち野⇄ヘルスコープ)
3月 ニュース No.1 (合併協議の呼びかけ)
4月 支部総会(～5月)

5月 地域別総代懇談会(～6月)
かわち野・ヘルスコープ事務合同集会

6月 通常総代会
ニュース No.2

7月 かわち野・ヘルスコープ合同企画
「支部長が元気になる研修会」106名

10月 ニュース No.3

12月 21日(土) 第2回合同理事懇談会
(合併構想の検討・具体化)
介護職交流会(～2月)
医師交流会(～2月)
病院・診療所交流会(～2月)

2020年

1月 総代会方針の検討
経営・資金・労働条件などの検討
合併を視野にした3カ年計画承認の検討

4月 ニュース No.4
支部総会(～5月)

5月 地域別総代懇談会(～6月)

6月 通常総代会

●2018年12月に、なにわ保健生協(以下なにわ)が検討会にオブザーバーで参加されました。

●2018年12月に、3生協の理事を中心に懇談会を開催し合併について議論を交わしました。

●2019年3月に、法人合併に向けたニュースを全組合員に向けて10万部発行しました。

●今年度の通常総代会でかわち野、ヘルスコープに加えてなにわが、法人合併の検討に参加することを確認しました。



●3生協は、法人合併を視野に3カ年計画の議論を進めていきます。同時に「合併検討に向けた機関会議の規則」と各会議の責任者と構成員も各理事会で承認され7月より合併検討に向けた会議がスタートしました。



法人合併でめざす

「新しい医療福祉生協づくり」 に向けて

2019年6月の通常総代会で下記3生協が
法人合併検討することを議決しました。

この文書は、合併検討のこれまでの経過を振り返り、法人合併の目的・意義を更に深め、法人合併に向けてありたい姿を共有し、合併を視野に入れた3カ年計画づくりに反映させることを目的に組合員・職員に討議を呼びかけます。

法人合併に向けた運動は、大阪に新しい医療福祉生協をつくる運動であり、合併に参加する生協が「変わってからの合併」を合い言葉に事業と運動を更に発展させることを共通の目標に掲げ、計画づくりをすすめます。

私たちがめざす新しい医療福祉生協づくり

将来大阪は、高齢化が進み要介護者や認知症高齢者が増加します。また、単身高齢者が増え、人と人とのつながりが希薄になり孤立する人や子どもの貧困や虐待、引きこもりなどが増加し様々な社会問題が深刻化していきます。

さらに大阪は、高額な保険料負担や一部負担が払えず治療を中断する人も多く、健診受診率も低く、平均寿命が全国平均よりも短い不健康なまちとなっています。

こんな大阪を健康で居心地のいいまちにするために、人と人とのつながる場を増やし、人生を楽しく健康に暮らし続けたいという願いが求められます。

地域の住民と医療、介護の専門家が一緒になって健康なまちづくりに取り組む医療福祉生協の役割が重要です。

法人合併の目的は、健康で居心地のいい大阪のまちをつくるために、いまよりもさらにパワーアップして組合員・府民に貢献できるようにすることです。

そのために各事業圏域を単位に、医療福祉生協の役割をみんなで検討し、その役割が担える組織に進化・発展させる必要があります。

法人合併を検討する生協は、これまでの歴史を振り返り、弱点を克服し住民の願いに応える新しい医療福祉生協をつくる決意と構えでこの運動に取り組めます。



「新しい医療福祉生協づくり」に向けた 「ありたい姿」

1. 事業を継続発展させ、組合員の夢をかたちにする新規事業を可能にする健全な経営の確立
2. 組合員の要求に応える医師をはじめとする人材の確保と育成、働きがいがある職場づくり
3. てあい、ふれあい、ささえあいの組合員運動が発展し生協組合員組織の拡大強化が進む
4. 大阪全体の医療福祉生協の事業と運動が継続され発展する。

生活協同組合 **ヘルスコープ**
おおさか
〒538-0053 大阪市鶴見区鶴見3丁目6-24
TEL 06-6915-8855 FAX 06-6915-8822

医療生協
かわち野生活協同組合
〒577-0832 東大阪市長瀬町1-6-15
TEL 06-6726-6001 FAX 06-6726-6065

なにわ保健生活協同組合
〒534-0011 大阪市都島区高倉町2-3-4
TEL 06-6923-3615

「新しい医療福祉生協づくり」に向けた「ありがたい姿」

1. 事業の安定、継続発展

事業を継続発展させ、組合員の夢をかたちに
新規事業を可能にする健全な経営の確立

合併が実現すれば新しい生協は、大阪中東部一帯に事業所と組合員の支部エリアが広がり、組合員16万人、出資金で36億円、総収益で130億円を超える規模になります。

全国の医療福祉生協の中では、組合員数で2番目、事業規模で4番目に大きな生協が誕生します。

また、本部機能を統一することで一元管理し、予算、財産、コンプライアンスや個人情報などの内部統制機能を強化することができます。

法人合併で新たなサービスが利用できるようになり、組合員の暮らし

と健康を守るネットワークがさらに強化されます。

経営基盤は、大きくなり、投資や事業再編など様々なリスクに対応する可能性が広がります。しかし3生協の経営状況は、厳しく合併に向けて経営改善と財務体質の強化が求められます。



2. 人材の確保と育成

組合員の要求に応える医師をはじめとする
人材の確保と育成、働きがいがある職場づくり

医療福祉生協の医療を実践する医師の確保と養成は、病院、診療所の将来を左右する最重要事項です。今後も大阪民医連の援助を受けながら幹部医師の派遣、診療所の所長の世代交代など医師相互の協力協同を進めます。

2病院と95の事業所には、看護師やセラピスト、ケアマネや介護職など数多くの専門職の確保とマネジメントを担う人材育成が求められます。

2018年3月末時点	職員数	常勤	非常勤	常勤換算
ヘルスコープおおさか	740	460		280
医療生協かわち野	627	317		310
なにわ保健生協	127	60		67
合計	1,494	837		657

法人合併することで、人材確保、教育・育成体制の強化、同業種間の情報交換などによって効率的に体系的に育成することが可能になり、次世代を担う人材、幹部教育も充実させることができます。

3法人は、常勤換算で1500人近くの職員が働いています。生協で働く職員は、生協の社会的役割、価値に確信と誇りを持てるように一人ひとりが活躍できる生協にしていけることが大切です。



生協名	医療生協 かわち野生活協同組合	ヘルスコープ おおさか	なにわ 保健生協	合計
組合員数	75,439世帯	70,460世帯	14,269世帯	160,168世帯
出資金	17億2,105万円	16億6,785万円	2億5,922万円	36億4,812万円
支部数	65支部	54支部	9支部	128支部
班数	562班	222班	15班	799班
事業収益	53億5,247万円	68億6,116万円	8億4,042万円	130億5,405万円
病院	1	1	—	2
診療所	5	9	2	16
歯科	—	4	—	4
通所リハビリ	6	6	2	14
通所介護	—	6	—	6
認知症デイサービス	3	1	1	5
訪問看護ステーション	1	1	1	3
訪問介護ステーション	—	7	3	10
ケアプランセンター	7	7	3	17
グループホーム	5	4	2	11
ショートステイ	3	—	—	3
訪問入浴	—	1	—	1
小規模多機能居宅介護	2	1	—	3
福祉用具レンタル	—	1	1	2

■ 事業所のある地域



大阪の医療生協	組合員数(世帯)	出資金(千円)	事業所のある地域
ヘルスコープおおさか	70,460	1,667,850	鶴見・城東・旭・東成・中央・生野
医療生協かわち野生活協同組合	75,439	1,721,050	東大阪・八尾・大東
なにわ保健生協	14,269	259,226	都島・北
よどがわ保健生協	21,875	304,002	淀川・東淀川
けいはん医療生協	12,504	445,475	豊屋川・門真・守口
大阪きづな医療福祉生協	25,009	717,178	港・大正・西成・西
大阪みなみ医療福祉生協	26,797	641,254	堺・狭山・羽曳野・岸和田
南大阪医療生協	12,259	435,306	住吉・住之江
福島医療生協	5,620	97,989	福島
ほくせつ医療生協	8,051	145,276	豊中
合計	270,960	6,401,885	

2019年3月末現在

3. 組合員運動の発展と生協の拡大強化

であい、ふれあい、ささえあいの組合員運動が発展し
生協組合員組織の拡大強化が進む

私たちは、活動する地域を健康で居心地のいいまちにするために、人と人とのつながる場を増やし、人生を楽しく健康に過ごしていけるまちづくりに貢献します。

班会やサークル、健康づくりなど楽しい活動で新しい参加者や運動の担い手を増やして自立した支部活動を大きく前進させ、人と人とのつながりを広げていきます。

組合員とともに健康チェックや、健康体操などを地域に広げ、健康診断の受診者をふやし地域の健康づくりを推進します。

各生協が組合員同士の交流を広げ、合併に向けての目標を設定しその達成に向けて奮闘します。



4. 大阪の医療福祉生協運動の発展

大阪全体の医療福祉生協の事業と運動が継続され発展すること



大阪民医連に加盟する大阪全体の医療生協は、10生協あります。病院を持つ大きな法人は、医療生協かわち野とヘルスコープおおさかです。3法人で組合員世帯数58.6%や事業高で全体の約65.4%を占めています。あとの7生協は、診療所と歯科、介護を中心にした生協です。この間、診療所法人で経営悪化している生協が増えていました。同時に、診療所所長や看護師長、事務幹部世代交代も求められています。今回の法人合併の次は、大阪全体の医療福祉生協を視野に入れた大合併の検討も課題となります。

